

住民説明会での主なご意見等について

高校再編推進室

令和3年5月から7月において、「再編・整備計画【二次】（案）」に係る住民説明会を4地区で開催し、504名（旧第2通学区217名、旧第5通学区54名、旧第8通学区180名、旧第10通学区53名）の参加をいただきました。主なご意見等（アンケート記載含む）については、以下のとおりです。

項目	主なご意見等	県教育委員会の考え方
再編・整備計画【二次】（案）に関すること<共通事項>		
学 び	<ul style="list-style-type: none"> ・予測不能な社会を生きるために生徒一人一人の可能性を伸ばし、多様な価値観を尊重していく学びの実現を期待している。 ・テストの点数だけが評価ではなく、生徒の主体性や協働性等を育成する学びへと転換を進めてほしい。 ・学校内で完結するのではなく、地域等と協働・共創する学びは、22世紀を見据えた先進的な取組だと思う。すべての学校で実現できることを願う。 	探究的な学びをより一層推進し、新たな学びへの転換を図ってまいります。
	<ul style="list-style-type: none"> ・インクルーシブ教育の更なる充実に向けて、中学校と高校の連携強化や関係機関とのネットワークの活用などを一層進めてほしい。 	関係機関と連携しながら、特別支援教育の充実を図ってまいります。
進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・高校再編は「これから学ぶ子どもたちのため」という視点で進めてほしい。 ・コロナ禍で学校を取り巻く環境が大きく変化していることから、早期の再編・整備を望む。 ・急激な少子化に対応できるよう、再編・整備計画は前倒しできる部分は前倒しして、スピード感を持って進めてほしい。 	社会の激変と少子化の中でも将来にわたって高校教育の学びの質を保障していくため、「新たな学びの推進」と「再編・整備」を両輪とする高校改革を、着実に進めてまいります。
高 校 づ くり	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての高校が小規模化すると魅力や高校選択の自由が失われることに繋がり、地域の将来にとっても不幸だと思うので、活力ある学びの場の創造に取り組んでもらいたい。 ・リモートと対面授業を組み合わせた個別最適化された学びが実現できる高校づくりを進めてほしい。 ・多くの子どもたちが行きたいと思えるような、魅力ある学校にしてほしい。 	高校改革は、学びの質や仕組みを転換する「新たな学びの推進」と少子化にあっても多様な学びの場を創造する「再編・整備計画」を両輪に据えており、今後の統合新校の検討に生かしてまいります。
意見の 反映と 周 知	<ul style="list-style-type: none"> ・高校に関する一般的な認識としては、「知識偏重の学び」だと思うので、「探究的な学び」の重要性や具体的な取組について、これからも丁寧に説明してほしい。 ・再編を進める上で、小中学生の保護者等、多くの地域住民の意見を聞く機会を今後も設けてほしい。 ・これからの時代に必要な「新たな社会を創造する力の育成」という高校改革の主旨を、生徒や保護者、中学校教員などに繰り返し説明することが必要だと思う。 	今後も本県が目指す高校改革について積極的に説明していくとともに、地域の皆様との合意形成を丁寧に行いながら、再編・整備を着実に推進してまいります。

環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・県立学校学習空間デザイン検討委員会の報告を取り入れた「新たな学び」を実践するに相応しい学習空間づくりを期待している。 ・再編による新たな学びの場の整備と既存校の計画的な整備（洋式トイレの拡充、エアコンの全室整備等）を早期に実施してほしい。 ・ICT活用が更に進むよう環境整備をしてほしい。 	<p>学習環境の向上のため、個別の状況を踏まえつつ、計画的に必要な整備が行えるよう努力してまいります。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・高校数が減少することで、遠距離通学者が増えるのではないかと杞憂しており、通学費補助を検討してほしい。 	<p>県では遠距離通学者への無利子貸付制度を設けています。現行制度との整合性等も勘案した慎重な検討が必要であると考えます。</p>
少人数学級	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの流行や新しい生活様式の導入、学びの質の向上を考えると、高校でも少人数学級の実現を願う。 ・生徒の多様な進路を実現するためには、少人数学級の導入をしてほしい。 ・少人数学級に伴う教員増は、教員の質の確保という課題があると思う。 ・少人数学級は、規模の大きな学校を望む生徒や保護者の期待に沿っているのか疑問に思う。 	<p>高校では、学級とは別の学習集団を編成し、多様な学びの希望に応える少人数講座を展開しております。</p>
教員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> ・高校改革の柱である教育の質を転換するためには、教員の意識改革が重要であると思う。 ・生徒の多様な進路選択に柔軟に対応したり、「自ら問いを立てる」ための学びを実践するためには、今まで以上に教員には高いスキルが求められるので研修等を充実してほしい。 	<p>教員研修を高校改革推進の原動力として捉え、より一層の資質向上に取り組んでまいります。</p>
旧第2通学区の個別事項に関すること		
中野総合学科新校	<ul style="list-style-type: none"> ・母校がなくなると考えると寂しい思いもあるが、自分のキャリアをデザインする新しい学びを行う高校に生まれ変わるのはワクワクするし、期待もしている。 ・ユネスコスクールなどの特徴ある活動の継承など、地域の思いも尊重して新校づくりに生かしてほしい。 ・国公立大学への進学から地元就職まで、多様な学びと進路希望を実現する総合学科高校の設置を望む。 	<p>総合学科の魅力ある多様な科目の設置や個別最適な時間割の作成等、個々の進路やキャリアの実現に繋がる学びを創出してまいります。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・市内に普通高校がなくなることは、選択肢が狭まると思うので、普通科志望の子どもたちが安心できるような新しい総合学科高校にしてほしい。 ・普通科に行きたい生徒のニーズをどのように受け止めていくのか、慎重に検討を進めてほしい。 ・今までの総合学科の系列では、国公立大への進学が難しいと思うので、新たな総合学科高校では、そうした生徒の進路実現に向けた対応をしてほしい。 	<p>総合学科高校と普通高校の統合により市内唯一の高校となることから、今日的課題の探究や普通科目の学びをより充実させ、四年制大学等への進学希望を実現するシステムを構築してまいります。</p>

須坂新校	<ul style="list-style-type: none"> ・須坂創成高校が再度再編対象となることに地域の声も様々あるが、今回の再編によって、今以上に生徒の活動が活発になり、地域に新たな魅力が生まれることを期待している。 	<p>将来を見据え、地域とともに新たな新校の魅力づくりに努めてまいります。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・総合技術高校でも大学進学を視野に入れた指導を充実させてほしい。 ・専門科と地域探究的な普通科が一緒になった学校のイメージが掴みにくいので、具体的な学校像について示してほしい。 ・新たな普通科と従来の普通科との違いについて、具体的な教育内容を示してほしい。 	<p>今後、「再編実施計画懇話会」を設け、地域とともに統合新校のあり方を具体的に検討するとともに、その情報を適切に提供してまいります。</p>
高校配置	<ul style="list-style-type: none"> ・旧第2通学区の中に、普通高校、総合学科高校、総合技術高校+新たな普通科という個性ある高校を配置する方向性はとてもよいと思う。 ・キャリア教育をより充実させ、生涯学習にも結びつくような学校を設置してほしい。 	<p>今後の統合新校の検討に生かしてまいります。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な成育歴や学習歴を持つ子どもが増えているため、多様な生徒に対応できる高校があったらいいと思う。 ・発達障害のある子どもでも伸び伸び育っていけるような、きめ細やかな学びの場を設置してほしい。 ・地域の街づくりや活性化と関連するので、隣接地域も含めた広域的な再編を考えてほしい。 	<p>多様な生徒の学びの場としての定時制課程の配置や隣接区の旧第3通学区の高校配置については、今後、検討を進めてまいります。</p>
<p>旧第5通学区の個別事項に関すること</p>		
通学区制	<ul style="list-style-type: none"> ・旧第5通学区の流入超過の解消に向け、現在の通学区制の枠組みを見直すべきだと思う。 ・今は流入超過ではあるが、小諸と佐久に魅力ある新校ができれば、旧第6通学区への流出が増える可能性もあると思う。 	<p>現行の通学区は、県内全ての受検者にとって、選択の自由を保障し、その権利が行使できる制度になっています。</p>
高校配置	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間定時制については東御清翔高校に設置ありきでなく、住民等の意見を取り入れた案を策定してほしい。 	<p>定時制課程等の配置については、【全県】(案)でお示しする予定です。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の少子化を考えると、上田高校・上田染谷丘高校・上田東高校の統合を見越した再編計画が必要だと思う。 	<p>今後の少子化の進展を見据えた貴重な御意見であると認識しております。</p>
<p>旧第8通学区の個別事項に関すること</p>		
上伊那総合技術新校	<ul style="list-style-type: none"> ・学科の専門性を大切にしながら、総合技術高校はキャンパスを分けず1校にまとめてほしい。 ・総合技術高校において、従来の専門学科と同様の学びができるのか懸念がある。 ・地元の基幹産業を支える人材の育成につながる高い専門性を担保した学校づくりをしてほしい。 ・学科間連携を深め、新たな価値やアイデアを協働して生み出す学びができる総合技術高校としてほしい。 	<p>新校は、学科間連携を進め、新たな価値を共創する産業教育の拠点校として、高度な専門性を担保した魅力ある高校となるように努めてまいります。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・総合技術高校の配置については、地域バランスを考慮して検討してほしい。 ・新校の設置場所については、地元企業や農業、商業関係者等からの要望も大切にしてほしい。 	<p>将来を見据え、地域とともに上伊那総合技術高校の魅力づくりに努めてまいります。</p>
赤穂 総合学科 新校	<ul style="list-style-type: none"> ・単独転換ではあるが、地域住民や同窓会等の声も聞きながら、新たな学校づくりを進めてほしい。 ・南信初の総合学科高校であるため、他地域の高校の成果や課題等を参考にしながら、今までの伝統も生かした新校となるよう期待している。 ・赤穂高校商業科の特色ある教育活動については、新校に継承してほしい。 ・地元の様々な資源を活用した魅力ある総合学科高校にしてもらいたい。 	<p>新校は、上伊那地域の様々な地域資源を活用するとともに、今日的課題に係る多様な科目を配置した魅力ある高校となるよう検討を進めてまいります。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・定時制については、多様な生徒の学びの場の確保という観点から、今後も存続をしてもらいたい。 	<p>定時制課程等の配置については、【全県】(案)でお示しする予定です。</p>
高校 づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・上伊那は他地区へ出ていく生徒が多いので、自治体等と連携し、地域の子どもは地域で育てていける高校にしてもらいたい。 	<p>地元自治体や産業界との上伊那地域プラットフォームと連携し、地域とともに新たな魅力づくりに努めてまいります。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・辰野高校と箕輪進修高校についても再編後の学びがどうなるのか示してもらいたい。 	<p>再編・整備計画【二次】において、例としてお示しました。</p>
旧第10通学区の個別事項に関すること		
進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・柔軟な学科編成は、地域の特性や生徒のニーズを踏まえ、普通科と専門科のバランスがとれた編成となるように考えてほしい。 ・地域としても、少子化への対応や生徒の確保に向けた努力を県と一緒にやらなくてはいけないと感じている。 	<p>今後、普通科と専門科のバランスを考えた学科編成等について、地域の実情なども考慮して検討してまいります。</p>
高校配置	<ul style="list-style-type: none"> ・厳しい少子化ではあるが、木曽の地理的・地域的特性を踏まえ、2校の存続と現行の学科の維持に努めてほしい。 	<p>当面の間、現状の高校配置を維持し、生徒のニーズに対応した柔軟な学科編成について検討してまいります。</p>